

よくある質問

Q1 なぜ3回目のワクチン接種が必要なのですか？

ワクチン接種は、高い感染予防・重症化予防効果等がありますが、その効果は時間の経過とともに、低下することが示唆されています。そのため、感染予防効果等を高める観点から、2回の接種を完了した方は、追加接種をすることが望ましいとされています。

Q2 ワクチン接種を1回も受けずに墨田区に転入した場合、接種券は届きますか？

次に該当する方は、接種券の発行申請をする必要があります。発行を希望する場合は、コールセンターへお問い合わせください。

▶3年4月1日以降に転入した17歳以上の方 ▶3年6月17日以降に転入した12歳～16歳の方 ▶4年1月31日以降に転入した5歳～11歳の方

Q3 他自治体の接種券でワクチン接種を2回受けた後に墨田区に転入した場合、接種券は届きますか？

該当する方は、接種券の発行申請をする必要があります。発行を希望する場合は、必要書類を郵送してください。郵送での手続きが難しい方は、コールセンターへお問い合わせください。

[必要書類]▶接種券発行申請書(新型コロナウイルス感染症)3回目接種用 *区ホームページから出力可 ▶接種券(予防接種済証)や接種記録書などの、ワクチン1・2回目が接種済みであることを証明する書類の写し**[郵送先]**〒130-8756新型コロナウイルス予防接種調整担当

Q4 接種券を紛失してしまった場合はどうしたらいいですか？

再発行が可能です。コールセンターへお問い合わせください。

Q5 3回目のワクチン接種の副反応はどの程度ですか？

2回目のワクチン接種時の副反応とおおむね同程度です。

Q6 いつ2回目を接種したのか忘れてしまいました。どうやって確認できますか？

1・2回目接種時の接種券(予防接種済証)または接種記録書をご覧ください。

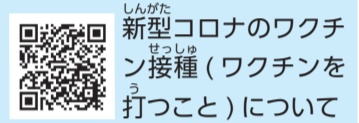
Q7 まだ一度も接種を受けていませんが、3回目のワクチン接種が始まってからも受けられますか？

引き続き、1・2回目の接種が受けられます。対応可能な医療機関は、区ホームページをご覧ください。

そのほかの質問はこちら！



やさしい日本語はこちら！



新型コロナウイルスワクチン接種証明書(国内用・海外用)

対象

ワクチン接種日の時点で墨田区に住民登録があり、接種証明書の交付を希望する方 *国内で接種を証明する場合は、接種時に受け渡す接種済証または接種記録書でも証明可



▲接種時に受け渡す接種済証

費用

無料

申込み

必要事項を記載した交付申請書、接種済証または接種記録書の写し(紛失した場合は、免許証の写し等の本人確認書類)、返信用封筒(返送先住所・宛名を記載し、必要な切手を貼付)を、郵送で〒130-8756新型コロナウイルス予防接種調整担当へ *海外用の申込みには、上記に加えて旅券(パスポート)の写しが必要 *海外用の証明書は国内での利用も可 *交付申請書と必要書類等の詳細は区ホームページを参照 *1・2回目、3回目の接種を、異なる自治体の接種券を使用した場合は接種時住民登録のある各自治体への申請が必要

問合せ

▶申請については=墨田区新型コロナワクチン接種問い合わせダイヤル(コールセンター)☎0120-714-587 *受け付けは午前8時半～午後5時15分(土・日曜日、祝日を含む)

新型コロナウイルスワクチン接種証明書アプリ

専用アプリから電子版のワクチン接種証明書が申請できます。アプリのダウンロード方法や、電子版証明書の申請方法等の詳細は、デジタル庁のホームページをご覧ください。なお、申請にはマイナンバーカードとスマートフォンが必要ですのでご注意ください。ワクチン接種証明書の詳細は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

ワクチン接種証明書アプリの詳細はこちら！



デジタル庁HP

ワクチン接種証明書の詳細はこちら！



厚労省HP

新型コロナウイルス感染症(ワクチン接種以外)の電話相談

一般的な相談=都「新型コロナ・オミクロン株コールセンター」☎0570-550-571

- *電話の受け付けは午前9時～午後10時(土・日曜日、祝日を含む)
- *聴覚障害のある方は、相談票に記入のうえ、ファクスで送信
- *日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語など12か国語での相談可

聴覚障害のある方

FAX5388-1396



相談票

発熱などの症状がある方でかかりつけ医がいない場合

▶東京都発熱相談センター☎5320-4592または☎6258-5780 *24時間対応(土・日曜日、祝日を含む)

▶墨田区発熱・コロナ相談センター☎5608-1443 *月曜日～金曜日の午前9時～午後5時(祝日を除く) *新型コロナウイルス感染症による不安やストレスなどについても相談可 *混雑時は、電話がつながりにくい場合あり

発熱などの症状がある方でかかりつけ医がいる場合=必ず電話で、日頃受診している医療機関に相談

